リスクアセスメントの結果から見た
電子・情報機器の安全確保のための警告表示

電子・情報機器の安全確保のための
表示実施要領 第４版

－　追補版２　『JIS C 62368-1 の対応について』　－
改訂Ａ

２０２１年（令和３年）１月

一般社団法人　電子情報技術産業協会
安全推進専門委員会

1. 背景

IT 機器と AV 機器の統合規格である IEC 62368-1 が制定され、整合規格である JIS C 62368-1（オーディオ・ビデオ，情報及び通信技術機器―第 1 部：安全性要求事項）が平成３０(2018)年 1 月に新規制定された。

JIS C 62368-1 の付属書 F にて、「機器に付けられた図記号は、この規格による要求事項にかかわらず、IEC 60417、ISO 3864-2、ISO 7000 又は ISO 7010 に従わなければならない。」と規定されている。

JEITA 発行の「リスクアセスメントの結果から見た電子・情報機器の安全確保のための警告表示　電子・情報機器の安全確保のための表示実施要領 第 4 版」（以下、「JEITA 表示実施要領・第 4 版」）を確認した結果、JIS C 62368-1 の図記号の一部に整合していないものがあったため、図記号の対比表を作成した。

なお、JIS C 6950-1（情報技術機器―安全性―第 1 部：一般要求事項）及び JIS C 6065（オーディオ，ビデオ及び類似の電子機器―安全性要求事項）は当面失効しない見込みのため、JIS C 6950-1 及び JIS C 6065 の適用製品に対しては現行の図記号が使用可能である。

また、IEC 60417、ISO 3864-2、ISO 7000、ISO 7010 等の図記号は著作権があるため、本追補版からの転載、引用は禁止である。

「JEITA 表示実施要領・第 4 版」と「JIS C 62368-1」の警告図記号の比較表

項目	「JEITA 表示実施要領・第 4 版」の警告図記号	「JIS C 62368-1」の警告図記号(※)
手はさみ注意	ISO 7010-019 	ISO 7010 W024
プラグを抜く	JIS S 0101 6.3.2 	ISO 7010 M006
風呂シャワーで使わない	JIS S 0101 6.1.3 	IEC 60417 6179-1 ISO 7010 P016 ISO 7010 P026

※規格年号　ISO 7010：2019 年 7 月版　IEC60417：2019 年 3 月版

※本追補版からの転載、引用は禁止。

項目	「JEITA 表示実施要領・第 4 版」の警告図記号	「JIS C 62368-1」の警告図記号(※)
接触禁止	JIS S 0101 6.1.2 	ISO 7010 P010
分解禁止	JIS S 0101 6.1.4 	ISO 7010 P096
破裂注意	JIS S 0101　6.2.3 ISO 7010　W002 	ISO 7010 P026

※規格年号　ISO 7010：2019 年 7 月版

※本追補版からの転載、引用は禁止。

項目	「JEITA 表示実施要領・第 4 版」の警告図記号	「JIS C 62368-1」の警告図記号(※)
高温注意	JIS S 0101　6.2.5 ISO 7010 Amd.1　W017 	ISO 7010　　IEC 60417 W071　　5041
発火注意	JIS S 0101　6.2.2 ISO 7010 Amd.2　W021 	ISO 7010 W021

※規格年号　ISO 7010：2019 年 7 月版　IEC60417：2019 年 3 月版

※本追補版からの転載、引用は禁止。

「リスクアセスメントの結果から見た電子･情報機器の安全確保のための警告表示
電子･情報機器の安全確保のための表示実施要領」作成委員名簿

― 第 4 版 ―

追補版２　『JIS C 62368-1 の対応について』
改訂 A

安全推進専門委員会

委員長	渡　　義　徳	日本電気㈱

安全 PR・WG

主　査	野　続　毅　幸	三菱電機㈱
副主査	三　橋　　賢	富士通㈱
委　員	渡　　義　徳	日本電気㈱
	志　田　武　彦	パナソニック㈱
	小　山　　司	日立グローバルライフソリューションズ㈱
事務局	高　橋　洋　子	(一社)電子情報技術産業協会

2020 年 10 月　追補版２　『JIS C 62368-1 の対応について』発行
2021 年 1 月　改訂 A 発行：「接触禁止」「分解禁止」「破裂注意」「高温注意」「発火注意」を追加。